

## 最新尿失禁治療

FotonaSmooth<sup>®</sup>レーザー及び  
高強度テスラ磁気刺激“HITS<sup>™</sup>”療法による尿失禁治療

**日時** 2021年12月7日(火) 12:00～13:00  
**場所** パシフィコ横浜 会議センター 第17会場 4F 413

**座長**



**井手 久満 先生**

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 教授  
低侵襲治療センター長

**演者**



高強度テスラ磁気刺激“HITS<sup>™</sup>”療法の  
最前線

**宮内 聡秀 先生**

医療法人圭成会 大分泌尿器科病院 理事長

**演者**



Fotonaインティマレーザー治療  
～クリニックではじめる自費診療～

**皆川 真吾 先生**

医療法人社団幸真会 皆川クリニック 院長



【本セミナーでご紹介されているレーザー装置及び高強度テスラ磁気刺激装置情報サイト】

- ◆インティマレーザー治療 (公式HP)<https://www.fotona-smooth.com/> (日本語サイト) <https://intimalaser.jp/>
- ◆高強度テスラ磁気刺激治療 (日本語情報サイト)[www.facebook.com/StarformerIntimawave/](http://www.facebook.com/StarformerIntimawave/)

【最新医療情報・セミナーに関するお問合せ】

＜Fotona日本総代理店＞ ハルテック株式会社 <https://haltek.co.jp>

＜婦人科・泌尿器代理店＞ TMKメディカル株式会社 <http://tmkmedi.jp> Tel. 052-253-7707 ✉[info@tmkmedi.jp](mailto:info@tmkmedi.jp)

## 最新尿失禁治療

# FotonaSmooth®レーザー及び高強度テスラ磁気刺激“HITS™” 療法による尿失禁治療

座長 井手 久満 先生

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 教授  
低侵襲治療センター長

## 1. 高強度テスラ磁気刺激“HITS™” 療法の最前線

演者 宮内 聡秀 先生 医療法人圭成会 大分泌尿器科病院 理事長

尿失禁は男女問わず生活のQOL(quality of life)を大きく損ねる病態である。

尿失禁は腹圧性、切迫性、混合性に分けられるが、初期治療としては行動療法として生活指導、理学療法、膀胱訓練や薬物療法がまず選択される。これらの治療に抵抗性を示す場合は神経変調法(neuromodulation)である干涉定数波を含む電気刺激療法、磁気刺激療法、仙骨神経電気刺激法(sacral nerve stimulation:SNS)、後脛骨神経刺激療法やレーザー治療や手術療法が検討される。

磁気刺激療法は本邦ではTMU-1100™が保険収載(磁気による膀胱等刺激法:70点)されており、腹圧性尿失禁における治癒率、有効率はそれぞれ29-53%、86-94%、切迫性尿失禁ではそれぞれ20-25%、50-85%と報告されている。侵襲もなく安全性と有用性は高いと考えるが、十分に普及しているとはいえない。

当院は本年2月よりFOTONA社のStarFormer® PROを本邦初導入した。高強度のテスラ磁気刺激HITS™(High Intensity Tesla magnetic Stimulation)デバイスであり、1回の治療は患者自身が耐えうる強さ迄パワーを上げつつ20~25分座るのみである。衣類の着脱は不要で尿失禁、便失禁、産後・術後の骨盤底筋リハビリテーション、骨盤臓器脱、腰背部痛やフレイル、筋力低下などに有用とされている。本機種は椅子の背面と座面に加え2つのハンドヘルド電磁パルスアプリーケーターを搭載。骨盤底以外にも鍛えたい筋肉を選択的に鍛えることができる最新の装置である。少数例であるがいずれも症状の改善を得ており、本学会にて経過を報告する。



宮内 聡秀 日本泌尿器科学会専門医

2003年 大分医科大学(現大分大学)医学部 卒業  
九州大学医学部泌尿器科学教室入局 九州大学医学部付属病院勤務  
2004年 独立行政法人別府医療センター入職 大分泌尿器科病院非常勤勤務  
2005年 大分泌尿器科病院入職  
2012年 大分泌尿器科病院副院長  
2018年 医療法人圭成会理事長 大分泌尿器科病院院長就任 インティマレーザー(Fotona SP Dynamis)導入  
2020年 The Best Doctors in Japan 2020-2021  
2021年 高強度テスラ磁気刺激装置 スターフォーマープロを導入

## 2. Fotonaインティマレーザー治療 ~クリニックではじめる自費診療~

演者 皆川 真吾 先生 医療法人社団幸真会 皆川クリニック 院長

当院は2020年9月に開院し、Fotona社製のSP Dynamisを導入した。SP Dynamisはネオジウムヤグレーザー(Nd:YAG)とエルビウムヤグレーザー(Er:YAG)の2波長のレーザーを搭載する。特にEr:YAGの特殊な出力方法であるFotona SMOOTH®modeが特長で、組織の引き締めと血管新生およびコラーゲン産生効果を発揮することから、泌尿器科領域ではインティマレーザー(経膣・経尿道的照射)によって、尿失禁の減少や膣の引き締め、骨盤臓器脱の改善効果が期待できる。また、1台で美容やびびき治療、脱毛効果など多彩な領域に適用できることも利点である。保険外診療になるが、基本的に無麻酔又は塗布麻酔で施行でき、安全性が高く合併症が少ないことからクリニックでの導入に適している。

また、2021年9月より高強度テスラ磁気刺激治療機器StarFormer®Proを導入、最大2.5テスラの磁気強度で骨盤底筋の強化やneuromodulation(神経変調療法)効果を発揮し、着衣のまま1回30分座るだけで腹圧性尿失禁や過活動膀胱等に効果が期待できることが特長である。

自由診療を取り入れることは、保険診療内の既成概念にとらわれない幅広い治療方法と効果を提供することが可能になり、クリニックの独自性や他の医療機関との差別化を図ることができると思われる。



皆川 真吾 医学博士 日本泌尿器科学会専門医・指導医

2001年 秋田大学医学部 泌尿器科  
2004年 虎ノ門病院 泌尿器科  
2006年 NTT東日本関東病院 泌尿器科  
2009年 聖路加国際病院 泌尿器科  
2012年 東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科  
2014年 行徳総合病院 泌尿器科  
2020年 医療法人幸真会 皆川クリニックを開設 インティマレーザー(Fotona SP Dyanmis)を導入  
2021年 スターフォーマープロ